

ネットワークアンケート ⑨

糖尿病ネットワークを通して

医療スタッフに聞きました

Q. 糖尿病の血糖降下薬にGE薬があることをご存じですか？

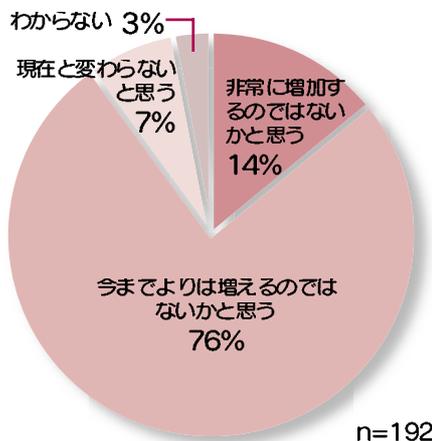
今年4月の診療報酬改定で処方箋様式が一部改訂され、ジェネリック医薬品(以下略:GE薬)に変更してよいかどうかのチェック欄が設けられることになりました。これによって今後、GE薬の普及が進むと目されていますが、糖尿病の診療現場ではどうなのでしょう。薬剤を使うことの多い糖尿病患者さんにとっては、とても関心の高いトピックスではないでしょうか。

[回答数:医療スタッフ192(医師36、看護師52、准看護師2、管理栄養士29、栄養士2、薬剤師46、臨床検査技師12、理学療法士1、その他12。うち糖尿病療養指導士41)患者さんやその家族55(食事療法を行っている35、運動療法を行っている270、経口薬を服用している109、インスリン療法を行っている453。重複回答)]

*ここでいう「ジェネリック医薬品(後発医薬品)」とは、新薬(先発医薬品)の特許有効期間が切れた後に発売される、同じ有効成分の医薬品をいいます。新薬よりも2~7割ほど安くなり患者さんの負担が軽くなりますが、治療成績や副作用などの情報が新薬よりも少ないので、切り替えに慎重な医療機関が多いのが現状です

医療スタッフの約4割が血糖降下薬のGE薬を“知らない”と答えました。糖尿病の診療現場で使用するしないにかかわらず、その存在については実際あまり認知されていないようです。しかし、下のグラフでもわかるように、9割の医療スタッフがGE薬の普及を予測しています。

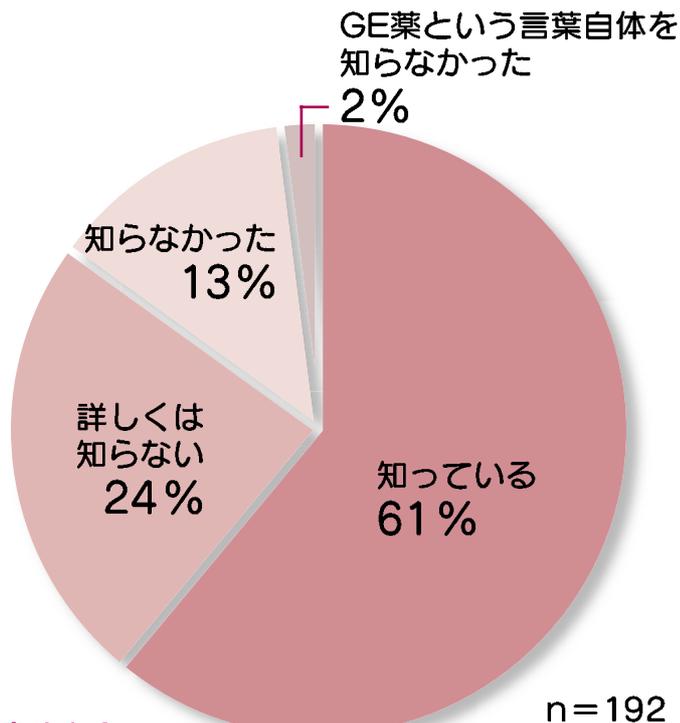
Q. 今後血糖降下薬へのGE薬への切り替えは増加すると思いますか？



Q. GE薬について患者さんと話題になることはありますか？ (n=192)

毎日、話題になる	3%
たまに話題になる	36%
ほとんど話題にならない	33%
まったく話題にならない	22%
わからない	6%

血糖降下薬のGE薬の扱いについては、‘積極的に使用したほうが良い’と答えた方は24%、‘一部GE薬も使用する程度でよい’とする方は52%と、“使用”については肯定的に考えている方が多い一方、上のグラフでもわかるように、この話題についてのコミュニケーションは実際にはあまり取れていないのが現状のようです。これについては“トラブル時の情報がない(医師)”“先発品と同等の情報がないと安心して患者さんに勧めることができない(看護師)”という情報の不足、“効能が先発品と差があるものが混在している(医師)”など薬効への信頼性の問題などが話題にしにくい理由になっているのかもしれませんが、また、処方箋に



「GE薬可」と指示しても、“在庫問題もあり、薬局では多種のGE薬を取り扱うのは困難(薬剤師)”というように薬局側にもとまどいがあるようです。

Q. 糖尿病患者さんにGE薬を勧める理由、勧めない理由は何ですか？ (複数回答あり)

「GE薬を勧める理由」	
患者さんの医療費負担を軽減	81%
情報提供することも医療スタッフの仕事の一つと考えるから	38%
国の医療費支出を減らすことが必要と思うから	37%
先発医薬品と効能・効果は変わらないから	27%
「GE薬を勧めない理由」	
メーカーからの情報提供が先発医薬品に比べて少ない	60%
副作用の発現、安全性に危惧	55%
薬効に信頼が持てない	50%
GE薬を使用した経験がなく、詳しく知らない	27%
過去に問題があったので使用していない	4%